

# 滞在先で「暮らし」体験

## 神宮 美憂(法4)

ベトナム研修旅行は、のものとりました。初ベトナム語……。驚きに私にとって初めてつくしめての外国、ベトナム、あふれ、何よりも現地の



## ●学生部セミナー「ベトナムへ行こう」

学生の皆さん(ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学―国際交流協定校)に助けられた10日間でした。ハノイ市内見学では、さまざまな場所に行きました。文廟、チャンコック寺、ホーチミン廟、民俗学博物館、旧市街：チャンコック寺では、お供え物の後始末について、日本とベトナムの異なる点を教えてもらいました。お供えをしたものは、後で食べても良いというのと同じなのです。唯一食べてはいけない果物があるそうです。それはバナナのような果物で、仏陀の手のような形をしています。だから科学大学―国際交流協定校)に助けられた10日間でした。

旧市街ではリアルなベトナムを体験しました。バイクが次々と通っていき、中を友だちと腕を組んで道を渡ったり、買い物で道を通り交差を見たりした。また、ベトナム人はフレンドリーだと思えました。また、ベトナム人はフレンドリーだと思えました。また、ベトナム人はフレンドリーだと思えました。

母、引率してください。た先生方、事前研修で協力してくれた2人のベトナム人留学生、一緒に参加した専修大学生、そしてハノイの大学生の皆さんすべてに感謝し、また新たに日本に来る留学生の皆さんに、今度は私たちがおもてなしをしたいと思います。

## 経済成長の活気 実感

### 宇田 智(経営3)

今回のセミナーでは、ベトナムの文化だけでなく、以前から関心のあったベトナムの経済情勢について理解を深めることを心がけました。近年、東南アジア各国の発展が目覚ましく、中でもベトナムの経済成長は著しいものがありま

感したことは、大手外資を含む小売店の多さです。ベトナムの小売り形態は、個人経営の店舗やスーパーマーケット、専門店、市場、移動販売などさまざまなものがありました。どの店舗も人であふれ、非常に活気があり

学生部セミナー「ベトナムへ行こう」3月1日～10日、ベトナム・ハノイなどを訪問。高原隆明商学部教授ほか学生7人参加。

## 寄稿

号もほとんどないので基本的にスムーズに行き来できますが、夕方の帰宅ラッシュの時間には帰路につき車や学校帰りの子どもを迎えに行くオートバイなどで非常に混雑しています。オートバイが歩道を走っている光景が何度も目にしました。また、日本ではオートバイや原付の後ろに載せる荷物の大きさに制限がありませんが、ベトナムでは、どんなに大きくなってもオートバイに載せて運んでいました。そのせいか、トラックをあまり見かけません。

## 厳かな儀式に見入る

### 長峰 麻美(経済4)

佐竹ゼミナールは、シルクロードの文化を現地学ぶことを目的とした教養ゼミナールです。1月30日から2月9日まで11日間、シルクロードの中心地ウズベキスタンへ行ってきました。最大のイベントは現地での大学生(タシケント大学)との交流会です。ウズベキスタンの大学生は私たちが快く受け入れてくれたので、歓迎パーティーを開いてくれました。そして彼らは多くの素晴らしい体験を私たちにさせてくれました。その中で印象に残ったのは、偶然の出来事でしたがイスラム教徒がお祈りすると

## ●佐竹ゼミ「シルクロードを歩く」

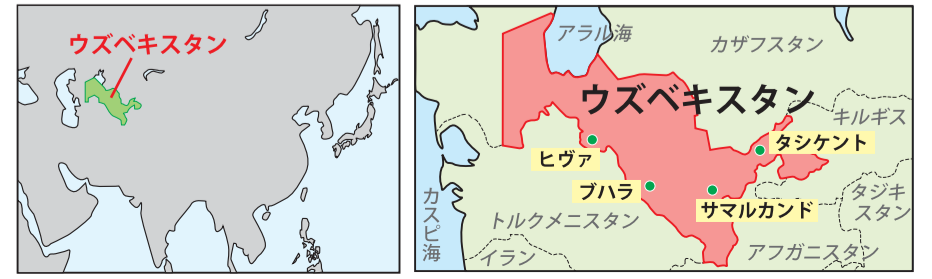


▲前列中央が長峰さん。2列目左から4人目が洲崎さん=サマルカンドのレジスタン広場で

## 溶け合う異文化同士

### 洲崎 義人(経済4)

シルクロードとは何問しました。一般的には、中国からヨーロッパまで絹が運ばれたことによる歴史的交流路のことを指します。私たちはオアシスの道と呼ばれる交易路の中心、ウズベキスタンを訪



の抵抗感がないと感じました。シルクロードは文化、人種、宗教などが混在してきた場所ではないため、この地では異文化同士のコミュニケーションが当たり前のかもしれない。私たちが異国で人々と触れ合うことに新鮮さや楽しさを見いだし、気づけばウズベキスタンに染まっていた。